

医療法人社団 南淡千遙会 神戸平成病院広報誌

特集

当院のリハビリテーションを紹介します！

いろいろリハ

在宅生活を支える病棟の働きとは？

当院の病棟紹介

コラム

当院の栄養士監修！

オススメレシピ

KOBE HEISEI HOSPITAL

変化していく社会に対応し、
進化していく。

当院は、診療所の時代から数えて90年以上、患者さんのため、地域のため、社会のために貢献してきました。そして医療環境の急激な変化に対応するため、平成27年4月から新たに神戸平成病院として再出発しました。

日本は今、世界中のどの国も経験したことのない、人口の高齢化に直面しています。医療の知識や技術はどんどん進歩しても、高齢者が増え続けると、これまでのやり方では行き詰まることになるでしょう。この事態を乗り切るために、病院、診療所、施設の役割分担をはっきりさせ、これまでよりも医療の質を良くしようとしています。変化の速さはまだ十分とはいえません。このような状況の中で、当院では急性期後期から回復期、地域急性期と呼ばれる患者さんの治療ができるように体制を整えました。具体的には、超急性期病院と呼ばれる大病院で急性期治療の目途が立ち、引き続き治療やリハビリが必要な方に当院に転院していただいて、病気の発症前の状態を目指して治療やリハビリを提供しています。また、診療所や施設から紹介される急性期の患者さんの診療も積極的に行っており、平成医療福祉グループの信条である「絶対に見捨てない医療」を実践してい

く覚悟です。

平成28年には病院を大規模に改装し、患者さん1人当たりの病室や食事談話室、リハビリ室などを大きく綺麗にして、療養環境を整えました。また、スタッフも大幅に増やし多職種による専門スタッフが協力して患者さんの回復を手助けしています。患者さんの回復に重要な病院の食事にも力を入れており、季節ごとの献立や郷土料理なども取り入れています。院内で調理されたおいしい食事を患者さんが自分で食べられるように努力することが、治療の第一歩であると信じています。当院でもう一つ力を入れているのが、人間ドックです。病気の治療に早期発見が重要であることは言うまでもありません。当院のドックの特徴は、病院で診療を行っている医師や技師などのチームが、ドックを担当していることです。日常の診療で培われた診断のさじ加減を生かすことができ、また、次の検査が必要な場合や病気が見つかった場合にも円滑な対応が可能です。

最後に、神戸平成病院は、変化していく社会に対応し、進化していく決意です。そのためには、利用して下さるみなさんのご意見が大変貴重であり、お聞かせ願いたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 日高 昭斉



神戸平成病院って どんな病院？

What hospital is it kobe heisei hospital ?

1 在宅生活を支える！

地域に密着した責任ある病院として、平成27年4月1日より、医療法人の病院として新たに出発することになりました。外来・入院・健診の機能はもちろんのこと、リハビリテーション機能をさらに強化してまいります。これからも地域のみなさんのニーズに応え健康をサポートし、「絶対に見捨てない医療」を提供いたします。

2 診療科目が豊富！

診療科目は10科目あり、当然それぞれに専門的な医師や看護師などのスタッフが付いています。その多くの科目やスタッフが連携しあい、専門性はもちながらも各臓器、機能系統にこだわらず、疾病を広い視野から診察し、各種検査結果を元に診断・治療を行います。豊富な科目だからこそ多方面からの治療やケアを可能にしています。

3 チーム医療で 退院後も安心！

医師や看護師が治療を支え、リハビリスタッフや介護士が早期在宅復帰を支援、そしてソーシャルワーカーが退院後の生活をサポートするなど、多くの専門職が協力して治療中はもちろん、退院後までしっかりとサポートいたします。お一人おひとりの生活を取り戻せるようチームでしっかりと支援していきます。

4 検査項目が豊富！

さまざまな疾病を見つけ出すのに必要な検査。検査ができなければ見つけられる病気も分かりません。当院ではさまざまな検査項目をそろえ、より正確な診療に役立っています。また、大きな病気も発見できるよう特殊検査(CT・MRI・エコー・マンモグラフィなど)もご用意しております。

離床への取り組み

1

入院生活の一番の問題は治療のための安静によりもたらされる廃用症候群であり、当院ではこれを防ぐために徹底した離床に取り組んでいます。趣味や娯楽を取り入れ楽しみを目的とする離床や、生活行為に直結する目的のある離床を行い廃用予防に努めます。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能の低下を予防するとともに回復への最大の近道となります。



ABOUT REHABILITATION

いろいろ

リハ

365日 リハビリテーション

2

入院中は毎日リハビリテーションを提供しています。7:30～19:15 まで、リハビリストッフが患者さんの動作にアプローチを実施しています。起床後や就寝前のトイレ動作や移動は転倒などのリスクも高く、介助に入ることでリスク回避や機能向上につながります。退院後の生活環境や介助法を検討するうえでも、活動時間帯の状況把握は大切なのです。



当院ではリハビリテーションを特に重要視しています。高齢の患者さんの場合、急性期治療を終え入院された患者さんの日常生活動作(ADL)は病前と比較し著しく低下しています。在宅復帰のためには十分なリハビリテーションが必要です。

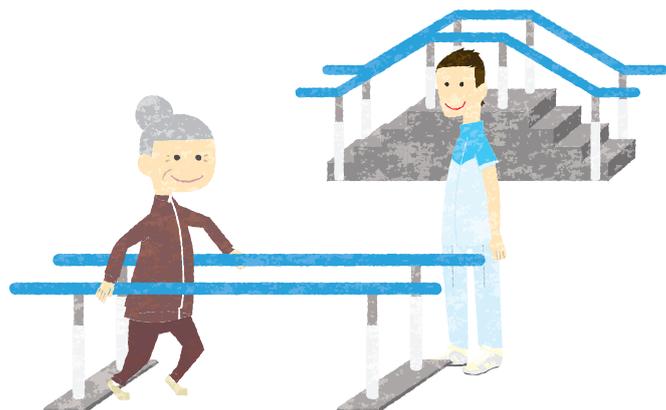
地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟での充実したリハビリテーションにより在宅復帰を目指すことはもちろん、退院後も外来リハビリテーションなどの在宅部門にも力を入れ、安心できる在宅生活を支えます。

多職種協働と退院支援

3

リハビリテーション効果を最大限に引き出すために、医師はもちろん看護・介護や栄養部などさまざまな専門職と強力なチームを形成し、全力で在宅復帰へ向け支援します。退院にあたって

はソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、社会資源の活用や介護福祉サービスについて情報提供とご提案をいたします。



在宅分野での取り組み

8

患者さんが安全で安心できる在宅生活を継続できるよう、外来リハビリテーションや入院時に患者さんの家屋調査を実施しています。在宅生活での不安や問題点に直結したリハビリテーションの提供やアドバイスなど、患者さんのより良い在宅生活を支援します。

摂食嚥下リハビリテーション

9

高齢者は疾病などで状態が悪化した場合、嚥下(飲み込み)機能が低下し疾病は治癒したものの、食事ができず在宅復帰できない状態になることがあります。そうしたことを防ぐため、言語聴覚士(ST)を中心に入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事で機能訓練を行なっていきます。

膀胱直腸機能 リハビリテーション

10

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰を目指すリハビリテーションにおいて、摂食嚥下と並ぶ最重要課題のひとつです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行う。この当たり前の行為を入院後早期から行っていただけるように全力でサポートしています。

ホームワークの推進

11

個別や集団のリハビリテーション以外の時間を有効に活用していただくため、積極的に取り組めるよう一人ひとりに応じたホームワークを担当スタッフが考え提案しています。体を動かす時間を増やしていくことで、早期退院へつながります。

総合的な リハビリテーション視点

4

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)はそれぞれの職種の専門性を高めながら、お互いを知り・認め、そして情報を共有しています。特に在宅のリハビリテーションでは患者さんの異常や問題を発見することもあり、その場ですぐに対応策を提案できるよう常に総合的な視点でリハビリテーションを提供しています。

個別リハビリテーション

5

理学療法士(PT)・作業療法士(OT)・言語聴覚士(ST)が個別リハビリテーションを実施します。運動機能や認知機能、嚥下機能など患者さんの状態を総合的に評価し、一人ひとりにあったリハビリテーションを集中的に提供することで在宅復帰をサポートします。

集団リハビリテーション

6

治療のための安静による廃用症候群を防ぐため、当院では人とのふれあいや楽しみの要素を取り入れた小集団(5~10名)でのリハビリテーションを行っています。1日1~3時間、スタッフがさまざまなプログラムを提供し、運動や認知機能の低下の予防と回復をサポートします。

Rehabilitative Intervention for Daily Living (RIDL)

7

トイレや更衣、歩行など、日常生活のなかで介助が必要な動作について、リハビリスタッフがピンポイントで専門的に関わります。個別・集団リハビリテーションに加え、一人ひとりに必要な動作への絞ったこの取り組みは、目標とする動作の早期獲得を可能とし、退院へと導きます。

PICK UP

呼吸リハビリテーション



呼吸トレーニング 腹式呼吸の練習



呼吸筋のリラクゼーション



自転車エルゴメーター



脚の筋力トレーニング

疾病による息苦しさから、活動量が低下し、筋力が低下してしまうという悪循環が生じます。そういった患者さんにとっては、残された肺の機能や全身の筋力を使用し、呼吸困難を改善するためのリハビリテーションが重要です。リハビリテーションや運動と聞くと、大変そうに思う方もいるかと思いますが、心配ありません。呼吸リハビリテーションでは、患者さんの症状にあわせた無理のないプログラムを行い、継続する事が大事とされています。

呼吸リハビリテーションには COPD の息切れを軽減し、健康関連 QOL (生活の質) を改善する効果があると言われており、ほかにも、呼吸リハビリテーションは COPD 以外のいくつかの慢性呼吸器疾患においても効果的と言われています。このように、呼吸器疾患に対して、呼吸リハビリは効果的であるといわれています。

当院における呼吸リハビリテーションは、呼吸ケアに経験のある理学療法士・作業療法士が実施します。最初に状態の評価・検査を行い、医師と相談の上で必要なプログラムを実施します。

プログラムの一例

- ① 呼吸トレーニング (腹式呼吸・口すぼめ呼吸・呼吸介助)
- ② 呼吸筋ストレッチ・リラクゼーション
- ③ 呼吸体操
- ④ 排痰法 (体位排痰法・スクイーミング)
- ⑤ 筋力トレーニング (重りや自重を利用した上肢・下肢筋力増強運動)
- ⑥ 歩行トレーニング (平地・坂道・階段)
- ⑦ エルゴメーター (自転車) によるトレーニング
- ⑧ 自主訓練や日常生活時の動作方法指導



new

リハビリテーション室が リニューアルしました!

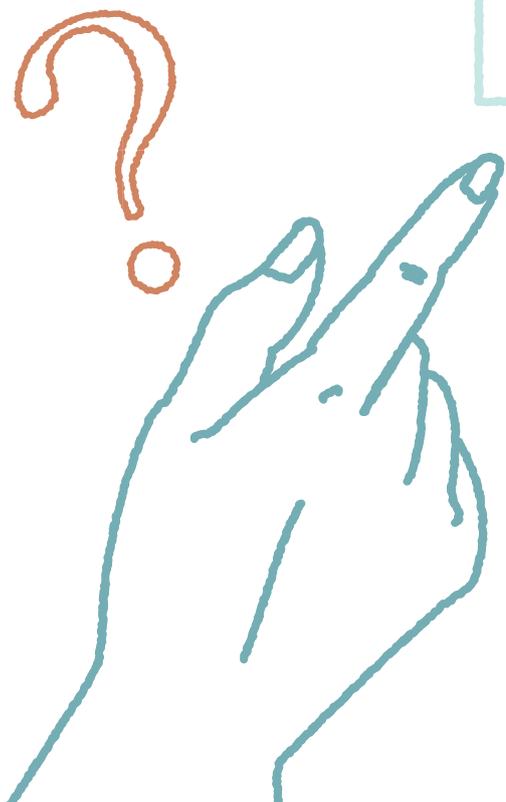
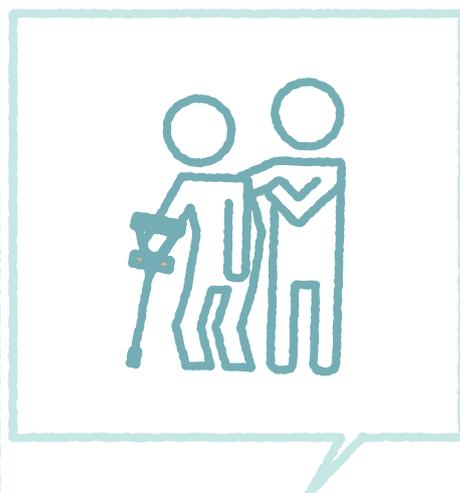
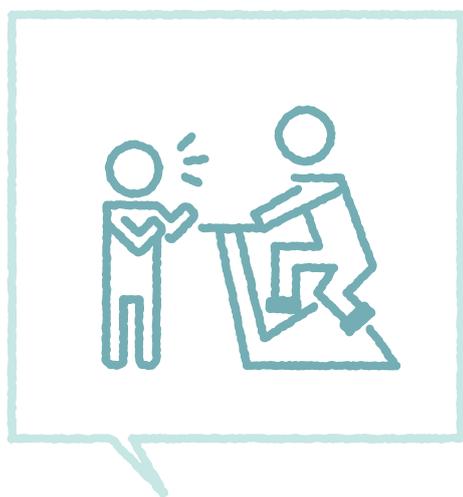


お困り際には
ぜひお気軽にご相談ください!

老朽化対策と機能拡充を目的に、リハビリテーション室の改修工事を進めてきましたが、4月に無事改修工事が終わり、明るく開放的なリハビリテーション室が完成しました。

ここでは入院患者さんのリハビリテーションのほか、外来リハビリテーションも行っております。患者さん・利用者さんの生活の支援と1日も早い在宅復帰を目指し、多職種協働による強力なチームアプローチを実践しています。また、今回の工事に伴い、リハビリテーションに必要な機器も充実しました。これからも患者さん一人ひとりに必要なリハビリテーションを提供し、より多くの人のQOL（生活の質）向上に努めていきたいと思っております。

神戸平成病院には どんな病棟があるの？



いろいろな病棟があるみたいだけど、
それぞれがどんな病棟なのかわからない。
そこで今回は病棟についてとそこで働くスタッフをご紹介します！

回復期リハビリテーション病棟

多職種が一つのチームとして協働し、患者さん・ご家族の思いに沿った在宅復帰、社会復帰を目指します。
一緒に頑張っよかったと思っただけの支援に努めていきます。

明るく楽しく！
笑顔でしっかりサポートします！



在宅生活に戻れるよう、
他部署と連携をとりながら
支援を行っていきます。



看護師 主任
杉野 紀希

多職種の連携を大切に、セラピストがリハビリに
専念できるよう、身体的にも精神的にも支えになり、
チームで支援していきます。



看護師長
藤井 一代

Q 入院すると どんな一日？

A

1日の行動のすべてが
リハビリテーションに
つながっています！

起床

▼
着替え

▼
トイレ

▼
朝食

▼
歯磨き

▼
リハビリ
(理学療法)

▼
リハビリ
(言語療法)

▼
昼食

▼
歯磨き

▼
リハビリ
(作業療法)

▼
入浴

▼
夕食

▼
歯磨き

▼
トイレ

▼
着替え

▼
就寝



可能な限りトイレで
用を足して生活動作を
鍛えます！



歩行などの
基本動作を鍛えます。



言葉や飲み込みなど
を訓練します。



手を使った運動など
細かい動きを訓練します。

生活に必要な動作を
中心にさまざまな
リハビリを受けます。

スタッフの
サポートを受けながら、
食堂で食べます。



スタッフの指導を
受けながら食後の
歯磨きをします。



身体の状態に合わせて
入浴方法をかえるので、
安心して入れます。



A 急性期病院で治療が終わっても、 リハビリテーションと治療が 必要な時！



回復期リハビリテーション病棟に入院する方の多くは、急性期病院で治療を終えたものの、すぐにご自宅へ復帰するには不安があり、引き続きの治療とリハビリテーションが必要な方です。ほかに、診療所からの紹介で入院の必要があると診断された方が対象となります。この病棟では、入院する全体的に、疾患を発症する前の状態や生活の様子を入院時にお伺いしています。そして、「発症以前の状態まで回復」を目標として治療とリハビリテーションを行います。もちろん、疾患や障がいの程度、回復の程度などは個人差がありますが、スタッフと患者さん、そしてご家族と協力し合い、患者さんの回復を全力でサポートします。

Q どういう時に 入院するの？

Q 入院期間は どのくらい？



病状や回復の程度により

異なります！

地域連携室をご利用ください

退院後のケアについて

お気軽にご相談ください

☎ **078-232-7540**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 土日曜以外

回復期リハビリテーション病棟は入院できる日数に期限があります。入院時に一人ひとりの状態や希望をお伺いし、個別の退院目標の設定を行います。期限日より前に希望や目標に到達することができれば、その時点で退院の検討を進めます。長期入院となるときには、施設への入所へ向けた調整も行います。退院後も一人ひとりのご都合に合わせて、ふさわしいケアをご提案します。

地域包括ケア病棟

急性期病院からご紹介の患者さんの受け入れはもちろん、
ご自宅や施設で肺炎や発熱等で体調を崩された患者さんも受け入れします。

患者さんが安心して
退院できるようスタッフ
みんなで協力して支えます！



患者さんご家族が安心できるよう、
スタッフとともに、明るく、楽しく、
力強い在宅支援をいたします。



看護師長
木地 智恵美

A 在宅復帰が目的で 治療とリハビリテーションが 必要な方ならどなたでも!



Q **どんなときに
入院するの？**

レスパイトケアやご自宅または施設で急に具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したもののすぐに在宅復帰することに不安な方や症状に不安があり集中してリハビリテーションを受けたい方など、患者さんの疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れを行います。そして、安心して在宅復帰ができるように、患者さんが持つ疾患に対する治療はもちろん、患者さんの在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供しています。また、退院後の生活に合わせ、施設紹介や訪問介護、デイサービスなどの介護サービスのご提案等を行っています。



A 60日以内の 退院を目指します。

Q **入院期間は
どのくらい？**

60日以内での退院を目指し、1日に個別リハビリテーション2単位(40分)以上の提供や、日常生活に関わる動きを中心としたリハビリテーション(RD)の提供など、積極的に取り組んでいます。また、患者さん一人ひとりに合わせた退院支援を行うために、病棟に退院支援を専門とする看護師、社会福祉士を配置しています。また、患者さんの体調や身体状況によって、長期的な治療が必要になったときは当院医療療養病棟への転棟も可能です。

地域連携室をご利用ください

退院後のケアについて

お気軽にご相談ください

078-232-7540

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 土日曜以外

教えて！

地域連携室

／ 私たちがお答えします！ ／



病院について気になることを
何でも解決します！
分からないことがあれば、
いつでもお気軽にお声がけください。

☎078-232-7540

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 日曜以外

Q 地域連携室って
どんな人がいるの？

地域連携室では、地域に根ざした医療・介護サービスの提供ができるよう、病院・診療所・施設やケアマネジャー・訪問看護等の関係機関と円滑な連携が行える体制づくりに努め、患者さんの受け入れ（前方支援）と退院に向けての支援（後方支援）を行っています。患者さんを受け入れる前方支援として看護師が1名、後方支援としてソーシャルワーカーが2名おり、他職種との連携を図りながら退院支援を行っています。

入院についてや在宅生活についてなど、不安なことがあれば、ぜひお気軽にご相談ください。

A

退院支援を専門とする専門の看護師とソーシャルワーカーが在籍しています。



認知症や在宅でのケア方法、
気になる病気の相談など、
なんでもお気軽にご相談ください！

地域連携室師長
崎山 喜子

誰でも
出来ちゃう
簡単健康レシピ

オススメ

easy healthy Recipes
that nutritionists teach!

レシピ



メニュー

なすのさっぱり香酢和え

材料

(2人前)

なす	…40g	酢	…30g
みょうが	…10g	濃口しょうゆ	…大さじ2
しそ	…80g		
白ねぎ	…20g		

コレが効く!

なすには血圧を下げる効果のある「コリン」という成分が含まれています。コリンは血管の柔軟性を保ち、血管を強くする働きがあります。
高血圧の方はもちろん、毛細血管からの出血防止や動脈硬化を防ぐ効果があるといわれています。

作り方

- 1 なすはイチョウ切り、みょうが・しそは細切り、白ねぎは白髪ねぎにしておく。
- 2 酢と濃口しょうゆを合わせておく。
- 3 アクを取るため、沸騰したお湯になすを入れさっと湯がく。
- 4 なすの水気を切り、みょうがと和える。
- 5 なすの熱が取れたら合わせた調味料を和える。お皿に盛り上に白髪ねぎをのせて完成!



使用材料

神戸平成病院で一緒に働きませんか？
ぜひお気軽にお問い合わせください！

業務拡大により

スタッフ 募集中

お気軽にお問い合わせください

くわしい情報と参加お申し込みは、
当院ホームページをご利用ください！

病院見学会開催中！

当院では就職ご希望の方対象に
病院見学会を毎月行っています。
ぜひお気軽にご参加ください！

毎月最終土曜日に開催しています。
2時間程度のご案内で、
当院の概要や機能について
ご紹介いたします。



神戸平成病院

検索

■ 基本理念

生活に密着する地域中核病院としての役割を果たすべく、
患者さんとご家族の立場に立った親切・安全な専門医療を提供します。

■ 基本方針

- ・患者中心の医療、福祉サービスを提供します。
- ・患者のQOLの向上のために努力をします。
- ・医療、看護、介護技術の質の向上に常に努力します。
- ・地域との連携を大切にします。
- ・医療従事者としての自覚を持ち、自己の研鑽に努めます。



- 診療科目 内科・呼吸器内科・消化器内科
外科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・放射線科
婦人科・リハビリテーション科
- 診療時間 月～金曜 午前 9:00～0:00
午後 1:00～4:00
※内科のみ午後1:00～5:00
- 休診日 土曜・日曜祝日・年末年始
※各科の詳細な診療時間はお問い合わせください

〒651-0061 兵庫県神戸市中央区上筒井通6丁目2番43号
Tel.078-232-7519 Fax.078-261-2457
www.kobehp.jp info@kobehp.jp

